



生物多様性活動支援

私たちの暮らしを支える生物多様性を一人でも多くの方が知り、伝え、その保全に取り組んでいただくため、様々な立場の方の活動を支援しています。

「知り」「伝える」ための支援

- 府民の皆様へ、生物多様性について知っていただくため、生物多様性研修用プログラム「**知ろう・伝えよう 大阪の生物多様性**」を開発し、これを活用した研修や講習を行っています。
- 企業の皆様へ向けには、CSR活動で生物多様性に取り組む企業向け「**大阪で生物多様性についての取り組みをはじめてみませんか**」を作成。大阪府の施策や、府内企業による取組事例を紹介しています。
- また、近年国際的に「ネイチャーポジティブ経済」への移行が求められる中で、企業として生物多様性に取り組んでいただくために必要な情報をお伝えする研修を行っています。



企業での研修のようす

「取り組む」活動支援

- 企業や学校敷地内でのビオトープの活用方法（設置、生物の導入、モニタリング調査、環境学習プログラムの提案など）に関するアドバイスを行っています。
- 学校教員の皆さまに向けた、授業で取り入れやすい生物多様性の学習プログラムの提案など、生物多様性教育を支援しています。
- 生物多様性を軸としたまちづくりの支援として、地域で開催される住民参加型の生物調査等へ協力しています。
- 「おおさか生物多様性パートナー協定」（2013年大阪府創設）では、パートナー組織の一つとして、締結企業の活動を支援しています。



事業所敷地内ビオトープへの希少種の導入



学校教員を対象とした研修会のようす



住民参加型生物調査の実施風景